

きらら通信

こちら校長室



令和3年度

令和3年8月30日
京都市立修学院小学校
校長 村山 雅彦
TEL: 075-781-4439

2学期始業式での話です。

暑い毎日が続きます。夏休みの間、皆さんは元気に過ごせましたか。校長先生は本当に長かったように感じました。それは皆さんの姿が長い間、見られなかつたからかもしれません。

1学期の終業式に8月25日にはまた皆さんの元気な姿を見たいと言ったことを思い出していますが、今日は皆さんの元気な顔を見て、とても嬉しく思っています。

今日も修学院学区安心安全委員会「子ども見守り隊」の方々が朝早くから通学路で皆さんを迎えてくださいましたね。皆さんは本当に多くの方々に大切に見守っていただいて過ごすことができています。ただ、もう気づいている人も多いと思いますが、いつもの年だとこの時期に皆さんの大先輩の修学院小学校同窓会の方々が築山の整備をしてくれていますね。また、始業式の日にはPTAの方々が皆さんを迎えてくださいますが、残念なことにどちらも中止になりました。感染症予防のためです。8月20日から緊急事態宣言となりました。皆さんも引き続き今まで以上に感染症予防に気をつけなければなりません。

先日、新聞で興味深い記事を見つけました。「京都市は、全国的に見ても夏の雷が多い。古くから「丹波太郎」「山城次郎」

「比叡三郎」と呼んで、突然の雷や雨に注意を促している。「積乱雲3兄弟」はそれぞれ、名前の方角から京都をめがけておそいかかり、激しい大雨をもたらす。」「近年、3兄弟に弟2人が誕生し、「桃山四郎」、「田辺五郎」と言われている。」というものです。確かに比叡山に雲がかかっているとその後修学院に雨が降ることが多いですね。とはいっても、最近の大雨はさらにもっと強くなっています。全国的にも大きな被害があります。皆さんも天気予

報などをよく確かめ、自分たちの安全を守るようにしましょう。

さてそんな中、今日から2学期、学校生活がスタートします。

今日はまだセミの声も聞こえる夏ですが、2学期が終わるのは12月24日。もしかすると雪が降り積もり、真っ白な銀世界かもしれません。2学期は一番長く、登校する日は、なんと84回もあります。季節は夏から冬まで続き、その間には「実りの秋」があります。

秋は、体も心も引き締まり、何事にも集中して取り組みやすく、特に様々な力が身に付く季節だといわれています。まさに自分が努力してきたことが実を結び、成果となって現れるときです。そのために、やはり、目標をもって過ごします。学校教育目標は、正しく 楽しく たくましく。

正しくは、挨拶をするということです。感染症対策のため、小さな声で目を合わせて挨拶をするようにしましょう。もう上手にできる人がたくさんいますね。

楽しくは、先生や友達とのやりとりの中で分かったことができるようになり、できるようになったことをどう使うか考えましょう。

たくましくは、想像力を働かせ、自分の身は自分で守り、お互いの安全を守ることのできる人になるということです。身のまわりの危険は多くありますが、特に今は熱中症や感染症予防のため、よく考えて行動することを続けてください。

最後に大切なことです。2学期の自分の目標を立てましょう。1学期や夏休みを振り返り、次に自分が頑張ることをはつきりともって取り組みましょう。まずは自分が少し頑張ればできそうなことを目標にしてやり抜き、それができれば、また次の目標を立てて取り組みましょう。

毎日少しづつ努力を続けて、実り多き2学期にしましょう。